

伊豆諸島頗ル椎子ヲ出ス、又肥前國松浦郡ニハ白椎有テ、其味甚美ナリ、且又此者ハ穀食ノ不足ヲ助ケ、凶荒ノ飢餓ヲ救フ者ニテ、啻ニ菓子ト爲スベキノミニアラズ、宜ク多ク栽ベシ、植ル法ハ、十月頃、實ヲ肥土ニ混合シテ、藁菰ニ包ミ、地中ニ埋メ、時々泔水ヲ澆置テ、翌年二月中旬ニ苗地ヲ畦作シ、三寸隔ニ一粒ヅ、蒔テ、上ニ八九分土ヲ覆ヒ、遮陽^{ヨケ}ヲ造リ、時々薄キ水糞ヲ澆テ、苗ヲ成長セシメ、三年目ノ春移シ栽ベシ、

〔萬葉集^二挽歌〕有間皇子自傷結松枝歌二首○中略

家有者、筒爾^{モル}盛飯乎、草枕旅爾^{モル}之有者、椎之葉爾^{モル}盛、

〔新撰六帖^六〕亥ゐ

むかつをの亥ゐのこやての世にふれば人の心にあひたがはめや

家良

いつのまにたれ種まきて片岡のむかひの峯に茂る椎柴

爲家

〔源平盛衰記^{十六}〕三位入道歌等附昇殿事

源三位入道ハ^{○源頼}政、中略、四位ノ殿上人ニテ、久世ニ仕エ奉ケルニ述懷仕テ、

上^{ノホ}ルベキタヨリナケレバ木ノ本^{モト}ニ椎ヲ拾テ世ヲ渡ル哉、ト申タリケルニ依テ、七十五ニテ三位ヲ被免テ後、先途既ニ遂ヌトテ、出家シテ、源三位入道トモイハレケリ、

〔佐渡志^五〕柯樹 方言シイノキ

山中ニ多シ、大木ナリ、加茂郡水津村ノ邊ニコトニ多シ、潤葉ナルモノ、大葉ナルモノアリ、實ハ榧ノ實ヨリ小サシ、小兒炒食スルニ味ヒ良ナリ、同郡椎泊村ヨリ出ルモノ名產トス、

〔紀伊續風土記^{物産}〕椎子^{モロコシ}本草^{モロコシ}本草^{モロコシ}和^{モロコシ}

各郡山中皆あり、在田郡山保田莊邊より多く出す、又樹皮は那賀郡野上莊邊より出づ、魚網を染るに用ふ、